

GT-eSMART series

GT-ePower-Q

取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2018. 08. 10版



目次

はじめに	1
安全にご使用いただくために	1
同梱品	2
各部名称	2
GT-ePower-Qの取り付け方	2
注意事項	
必要な工具	
手動負荷の取り外す	
GT-ePower-Qを取り付ける	
GT-eSMARTシリーズの接続	4
トリマーポッド	4
スピードセンサーの校正	5
ステータスLED	6
使用方法	6
使用環境	7
負荷特性	7
GT-Powerについて	7
故障かな？と思ったら	8

はじめに

このたびは、GROWTACの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

「GT-ePower-Q」は、GT-Roller Q1.1専用の電子負荷ユニットです。「GT-eBox」と合わせてご使用いただくことで、GT-Roller Q1.1をスマートトレーナーとしてご使用いただけます。

実走感の高いGT-Roller Q1.1を、スマートトレーナーにアップグレードすることで、リアルなバーチャルライドをお楽しみいただけます。また、作成されたトレーニングプログラムの再生などによって、効率の良いトレーニングを行うことができます。

本製品によって、お客様のサイクルライフがより一層豊かになることを心より願っております。

安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。

本取扱説明書の内容並びに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

最新の情報は弊社ホームページ (www.growtac.com) をご確認ください。

本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても一切その責任を負いかねます。

また、本製品より取得されたデータなどを利用した際に生じたお客様の損害、逸失利益につきましても一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

安全にご使用いただくために



室内トレーナーは、誤ったご使用をされますと**火災**や**事故**、故障や誤作動などによる**けが**の原因となることがあります。

本取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。GT-eSMARTシリーズをお使いの際は、本取扱説明書を確認できる状態にしておいてください。

- a. 異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。そのまま使用すると、誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- b. 本体やケーブルを踏むなどで破損した場合には、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。そのまま使用すると、誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- c. 雷が鳴りだしたら、使用を中止し、電源ケーブルや通信ケーブル、本体にさわらない。**感電**の原因となります。
- d. 分解や改造をしない。誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- e. 磁石が内蔵されている製品や部品を、心臓ペースメーカーなどに近づけない。強力な磁石が心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- f. 無線通信機器(GT-eBox)を心臓ペースメーカーなどに近づけない。電波により心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- g. 長期間使わないときは、電源ケーブルを抜く。**火災**や故障の原因となります。
- h. 直射日光の当たる場所や、熱機器の近くなど高温になるところに置かない。**火災**や故障、製品の変形の原因となります。
- i. 本体及びケーブルに水や汗等を付着させない。防塵防滴ではないため、故障や誤作動の原因となります。
- j. 使用中及び使用直後の最後輪のローラーパイプと本製品には触れない。高温になっているため、火傷する恐れがあります。
- k. 最後輪のローラーパイプと取り付けた本製品の隙間に、指などを入れないでください。**故障**や**けが**の原因となります。
- l. 本マニュアルに従って作業を行わない場合には、故障や**けが**の原因となります。
- m. 安全な環境で使用しない場合には、製品の故障や**けが**の原因となります。
- n. 指定の機器やケーブルを使用しない場合には、誤作動や通信不良により、故障や**けが**の原因となります。
- o. **本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても一切その責任を負いかねます。**

同梱品

同梱品がそろっているかお確かめください。

※不足がある場合は、お手数ですが、info@growtac.comまでご連絡ください。

- ・GT-ePower-Q(本体) 1ヶ
- ・通信ケーブル 1本
- ・スピード検出シール 2枚
- ・六角穴付きボルト 2本
- ・ワッシャー 2枚
- ・取扱説明書(本書)
- ・保証書



各部名称



強力磁石

スピードセンサー

取り付けネジ部分



※製品とは異なる場合があります。



ステータスLED
(左:オレンジ 右:ブルー)

ファンクションスイッチ
トリマーポッド

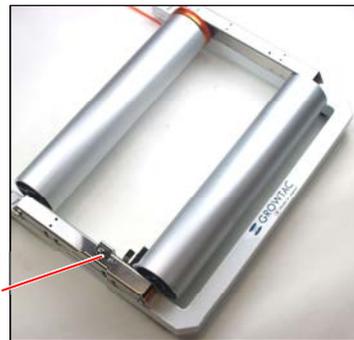
接続ポート

GT-ePower-Qの取り付け方

GT-ePower-Qをお使いいただくためには、お持ちのGT-Roller Q1.1の手動負荷装置と交換する作業が必要となります。

GT-ePower-Qの取り付け方に関する動画を、弊社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

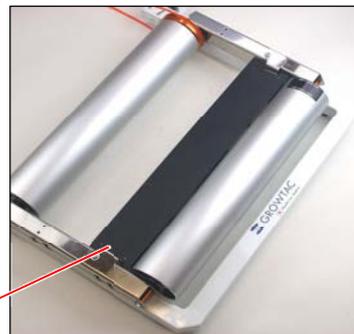
交換前



手動負荷装置



交換後



GT-ePower-Q

注意事項

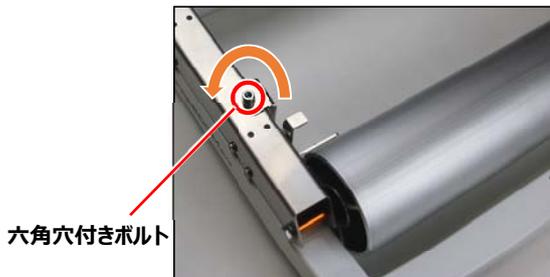
- 製品の破損やケガ等の可能性があるため、下記の注意事項を守り、取り付け手順に従って、安全に交換作業を行ってください。
- 弊社は、工具の不具合による製品の破損、怪我等につきまして一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。また、交換作業による製品の破損は、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 手動負荷装置及び、電子負荷ユニットには、強力な磁石が内蔵されていますので、取り扱いには十分ご注意ください。**
- 交換作業にご不明な点等がある場合は、info@growtac.comまでお問い合わせください。

必要な工具

- 4mmアーレンキー
- ※ 六角ボルト穴に適合した工具をお使いください。
ネジ穴が変形するなどの不具合が生じることがあります。

手動負荷を取り外す

1. アーレンキー（4mm）を使用して、手動負荷装置を固定している六角穴付きボルトを緩める。



⚠ 手動負荷装置の危険性について

**手動負荷装置には、強力磁石がついております。
取り扱いには、十分ご注意ください。**

強力な磁石が他の電子機器の動作に影響を与えることがあります。また、**ケガ**につながる**事故**を引き起こす可能性がありますので、**安全な場所に保管してください。**
取り外した手動負荷装置は、GT-ePower-Qの磁石部分を覆っていた緩衝材等で包み、**安全な場所で保管してください。**



GT-ePower-Qを取り付ける

2. 手動負荷装置が付いていたネジ穴（赤丸部分）に、GT-ePower-Qの取り付け部分の穴を合わせ、載せます。

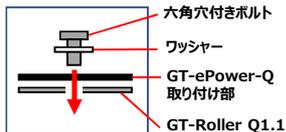


3. ワッシャーを通した六角穴付きボルトを、4mmアーレンキーを使用して、GT-ePower-Qを固定します。指定トルク 5N・m



六角穴付きボルト (5N・m)

イメージ図



六角穴付きボルト
ワッシャー
GT-ePower-Q
取り付け部
GT-Roller Q1.1

4. 中性洗剤等使い、ローラーパイプの表面の油污れ等を落としてください。その後に、同梱されているスピード検出シールを1枚、最後輪のローラーパイプのGT-ePower-Qのスピードセンサー側に貼ります。



スピード検出シール

※端から1mm程度の隙間を空けて、
上図のように貼ってください。

GT-eSMARTシリーズの接続

GT-eSMARTシリーズをお使いいただくためには、GT-eBoxを本ユニットに接続する必要があります。
接続方法につきましては、GT-eBox取扱説明書をご参照ください。

トリマーポッド

トリマーポッドは、GT-ePower-Qに内蔵されている強力磁石の位置を調整する機能を持っています。
GT-ePower-Qをご使用中に、強力磁石とローラーパイプが接触する場合、この機能を使用します。
※接触している場合は、金属同士が擦れるような音がします。

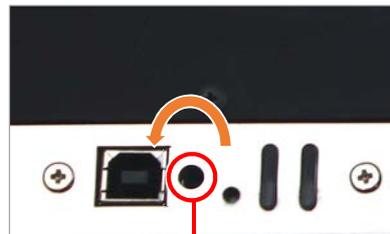
調整方法

走行中に、ローラーパイプと強力磁石が接触する場合には下記手順で調整してください。

GT-eRemoteのマニュアルモード、またはサイクルコンピューターのトレーナー制御機能を使用し、GT-ePower-QのResistance（負荷）を100%にします。

最後輪のローラーパイプを手で回しながら、ローラーパイプと強力磁石が接触しなくなるまで、プラスドライバー（#2）を使用してトリマーポッドを半時計回りにまわしてください。

※GT-eRemoteの使い方につきましては、GT-eRemoteの取扱説明書をご確認ください。



トリマーポッド

スピードセンサーの校正

GT-ePowerをご使用いただく前に、ローラーパイプの回転数を正確に測定できるようにするため、GT-ePower内のスピードセンサーを校正する必要があります。また、校正には、GT-eBoxとの接続が必要です。スピードセンサーは、ローラーパイプ表面とスピード検出シール面の反射率の差からスピードを検出しています。ローラーパイプ表面を**基準面**として測定した後に、スピード検出シール面を測定します。

注意事項

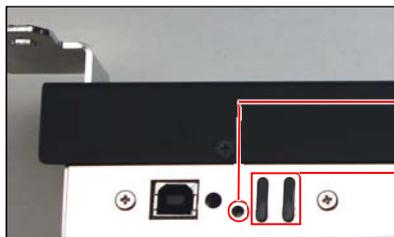
ローラーパイプに汚れやサビなどが付着している場合、スピードが正しく検出できないことがありますので、ローラーパイプの表面(基準面)は汚れないようにしてください。

また、GT-ePower本体のセンサー部にホコリや汚れが付着している場合にも、スピードが正しく検出できないことがあります。ローラーパイプ表面の汚れがない状態で校正を行っても、スピードが正しく検出されない場合には、本体センサー部の汚れを取り除いてください。

1. 校正モードにする

スピードセンサーを校正する場合は、接続したGT-eBoxの電源を予めお切りください。

- 1-1. **ファンクションスイッチ**を押しながら、GT-eBoxの電源を入れてください。
- 1-2. そのままファンクションスイッチを押し続けると、**ステータスLEDオレンジ**が点灯した後に、上下の**ステータスLEDブルー+オレンジ**が同時に2回点滅し、校正モードに入ります。
- 1-3. **ステータスLEDオレンジ**のみが点灯したら、ファンクションスイッチから手を離してください。



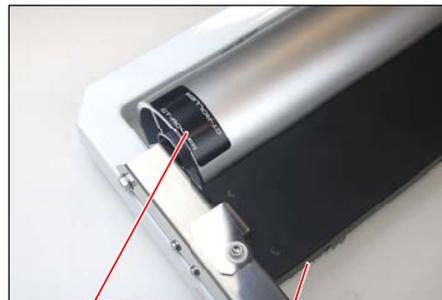
ファンクションスイッチ

左：ステータスLEDオレンジ
右：ステータスLEDブルー

2. 基準面の測定

初めに、基準面の測定を行います。測定は、GT-ePower-Qに内蔵されているスピードセンサーが行ないます。測定の際は、スピードセンサーがスピード検出シールを測定しないよう、スピード検出シールが上を向いている状態で行ってください。

- 2-1. ローラーパイプの [スピード検出シールが貼られていない位置] にスピードセンサーを合わせる。(シールが上を向いている状態)
- 2-2. **ステータスLEDオレンジ**点灯中に、ファンクションスイッチを押すと、**ステータスLEDブルー**が点灯します。
※ファンクションスイッチを押し、測定している瞬間は動かさないください。
- 2-3. ファンクションスイッチから手を離すと、**ステータスLEDブルー**が消灯します。
- 2-4. 1～3の手順を、2回(計3回)行います。
※ローラーパイプを少しずつ回して、3回とも異なる箇所測定する必要があります。
- 2-5. 基準面の測定が完了すると、**ステータスLEDオレンジ**が消灯し、**ステータスLEDブルー**が点灯します。



スピード検出シール

ファンクションスイッチ

3. スピード検出シール面の測定

写真のように、スピード検出シールがGT-ePower-Qに隠れ、スピード検出シールの端が少し見える状態で測定してください。

- 3-1. ステータスLED**ブルー**が点灯中に、ファンクションスイッチを押すと、ステータスLED**オレンジ**が点灯します。
- 3-2. ファンクションスイッチから手を離すと、ステータスLED**オレンジ**が消灯します。
- 3-3. 1～3の手順を、2回（計3回）行います。
※ローラーパイプを少しずつ回して、3回とも異なる箇所測定する必要があります。



スピード検出シールの端 ファンクションスイッチ

4. 校正モードの終了

校正モードが終了すると、両ステータスLEDが同時に2回点滅します。校正モード終了直後に、ローラーパイプの回転をスピードセンサーが検出すると、ステータスLED**ブルー**が数回点灯します。

ステータスLED

ステータスLEDからGT-ePower-Qの状態を知ることができます。

正常時のステータスLEDパターン

-  両ステータスLED(**オレンジ**+**ブルー**)が消灯
→電源が入っていない状態
-  ステータスLED**オレンジ**が点灯
→電源が入っている
※電源は通信ケーブルから供給されます
-  両ステータスLED(**オレンジ**+**ブルー**)が点灯中
→負荷変更中

※上記のパターン以外は、異常時のステータスになります。

GT-ePower-Qの動作が停止するなどした場合、ステータスLEDをご確認ください。ステータスLEDの点滅パターンによって、原因を知ることができます。異常ステータスの確認は、P.8をご参照ください。

使用方法

スマートフォンなどからGT-ePower-Qを操作するには、GT-eBoxが必要です。

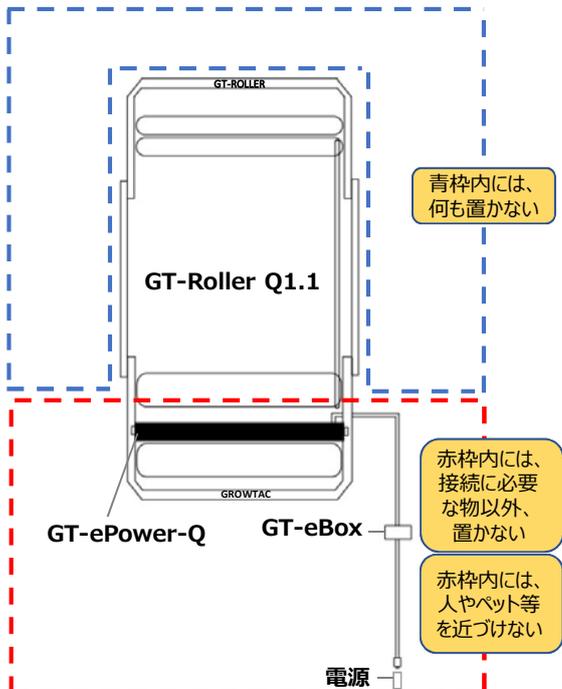
GT-eBoxとスマートフォンなどの無線接続方法は、GT-eBox取扱説明書をご参照ください。

使用環境について

下図を参考に安全な環境でご使用下さい。

動作環境条件

使用中の温度：0℃～+50℃（結露のないこと）



※室内トレーナーを使用中にバランスを崩すと転倒し、怪我をするおそれがあります。怪我防止のためにヘルメット等の安全具の着用を推奨します。

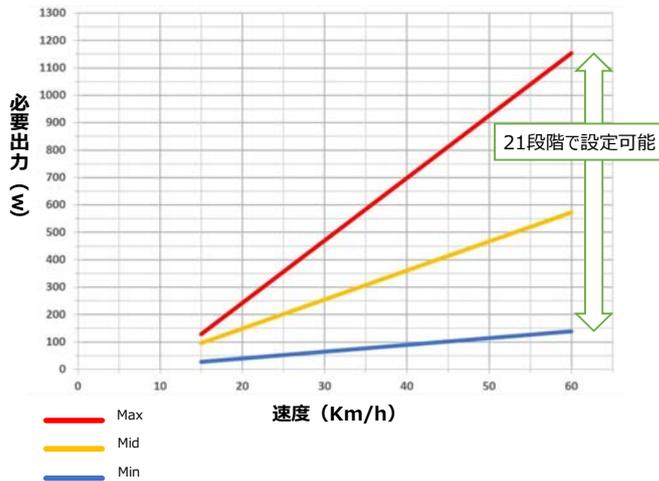
※GT-eSMARTシリーズ製品やGT-Roller及び接続ケーブルに異常や破損がないことを確認してからご使用ください。

※使用中及び使用直後の最後輪のローラーパイプは高温となっていますので、やけどする恐れがありますので触れぬようご注意ください。

※本体及びケーブルに水や汗等が付着した場合、速やかに拭き取ってください。

負荷特性(参考)

負荷特性は、温度等の室内環境や使用者の体重、タイヤ等の違いによって、変化します。



GT-Powerについて

GT-Powerは速度/負荷/体重/車重/室内環境などから独自アルゴリズムを用いて求める想定パワー値となります。このGT-Powerを使用して、パワートレーニングやヴァーチャルライドを行うことができます。

想定パワー値となるため、一般的なパワーメーター(クランク型やハブ型など)の値とは、異なることがあります。

スマートフォン専用アプリ「GT-eRemote」から補正を行い、GT-Powerの精度をより向上させることができます。

故障かな?と思ったら

GT-ePower-Qに異常を感じた場合、ステータスLEDをご確認ください。
ステータスLEDの点滅パターンによって、原因を知ることができます。

異常時のステータスLEDパターン

点滅パターンが表示される前に、2つの両ステータスLED(ブルー/オレンジ)
は一度消灯し、ステータスLEDオレンジが点滅します。



- ・ステータスLEDオレンジが2回点滅
GT-eBoxとの通信にエラーが発生しています。
ケーブルがきちんと差し込まれていない、または
他の通信機器と混線等している可能性があります。
GT-eBoxの電源を落とし、確認をしてください。



- ・ステータスLEDオレンジが3回点滅
GT-eBoxと一定時間通信がありません。
GT-eBoxの電源を落とし、ケーブルがきちんと
差し込まれているか確認をしてください。

確認後も症状が改善されず、故障と思われる場合は、
info@growtac.comまでご相談ください。

